

# 日本民間生薬検定試験問題【初級】（令和6年12月15日実施）

受験番号

氏名

【1】次に示した植物や生薬の成分の記述のうち、その特徴を示す内容をAまたはBから選び、記号を○で囲みなさい。2点×5

1. 植物や生薬の成分は〔A多成分からなる〕〔Bほぼ単一の成分からなる〕
2. アルカロイドというのは〔Aある特定の成分名である〕〔B総称名である〕
3. 成分の内容や量は生育環境や収穫期などにより〔A変動する〕〔Bほぼ一定である〕
4. 植物の部位による成分の違いは〔Aほとんどない〕〔B部位によって異なる〕
5. ふつつ草の成分とは、特に断りがない場合は〔A生（なま）の植物成分である〕〔B乾燥などした調製後の成分である〕

【2】ダイコンについての説明である。正しいものすべての番号を○で囲みなさい。2点×4

1. 根には消化酵素ジアスターゼを含み、でんぷん質の消化を助ける。
2. 「カイワレ」は成長するとダイコンになる。
3. 秋の七草の1つ。春に白～淡紅色の4弁の十字架状の花をつける。薬用部分は全草。
4. 種子を粉末にして腹痛や咳に、根をおろし風邪等に用い、打ち身、火傷、しもやけ等に用いる。
5. 生の葉を熱冷ましや虫下しとして用いる。

2点×4

【3】次の文章で、正しいものには○、間違っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

- (  ) 以下はアサガオの特徴である。茎と葉の関係は、つる2巻の間に葉は5枚をつけ上から見ると一筆書きの星（五角形）に見える。これにより、太陽光を効率よく受け取る。
- (  ) ドクダミの特徴は以下のとおり。小花は花弁がなく、3つの柱頭のある雌しべ（1本）と雄しべ（3本）でできている。その下に白い花びら4～5枚がある。
- (  ) オオバコ用途は、種子である車前子と全草である車前草で若干異なる。
- (  ) イタドリの薬用部分は根茎で生薬名は虎杖根である。

ドクダミ：小花の下にある白い花びらのように見えるのは総苞片（4～5枚）。総苞片は花序の基部にある個々の苞葉のことで、花びらではない。

2点×4

【4】次の文章で、正しいものには○、間違っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

- (  ) オオバコの種子の生薬名は車前子である。利尿、止瀉、鎮咳、去痰、眼病などに用いられる。
- (  ) ドクダミの生薬名を十葉といい、北海道の南部から本州、四国まで日本全土の陰地、湿地に自生する多年生植物である。果実（さく果）は球形で、残存する花柱の間で裂け小さな種子を多数出す。単為生殖であり、花粉は働きをしない。
- (  ) アンズが生薬名をトウニンという。薬用部分は種子、蕾、葉であり、婦人病に用いる代表的な生薬である。産前産後、血の道症や月経不順、更年期障害などに広く用いる。

( × ) モモの生薬名をキョウニンという。薬用部分は種子であり、利尿、鎮咳、去痰薬として、喘息・気管支炎などの咳嗽、呼吸困難、浮腫などにまた緩下剤として便秘に用いる。杏仁油は、軟膏や毛髪油などに用いられる。

3 問目：モモ

4 問目：アンズ

【5】 ツククサについての説明である。( ) 内に適切な用語を用語欄から選び、その番号を記入しなさい。1 点×11

梅雨が明けてしばらくすると、綺麗な青紫色の花を咲かせたツククサ（露草）の群生がみられる。

ツククサは( ⑩ ) 草で、梅雨が終わり夏の終わりごろまでに採取し、よく洗ってから乾燥し、密閉容器に保存する。葉は( ④ ) 列で( ① ) し、大きく重なった2枚の( ⑤ ) 色の花が目立つが、実はよく見ると小さな( ⑨ ) 色の花がもう1枚下部にあるのに気づく。その形や色から、( ② )、青花（あおはな）ともよばれ、花の汁を衣にこすりつけて染めていたことから、古くは( ⑥ ) とも呼ばれていた。

園芸種のオオボウシバナの花弁からとった青汁で紙を染めたものが( ⑧ ) という製品になる。これを水に浸して染み出た色素が友禅染などの下絵を描くのに用いられている。

開花期に全草を乾燥させたものが生薬オウセキソウ（鴨跖草）で、その( ⑫ ) 液を解熱、下痢止め、脳血栓予防、( ⑮ )（尿の出がよくなり浮腫を去る）、喘息などに用いる。また、生の葉や茎を搾った汁を外用として( ⑦ ) に用いる。

用語欄

① 互生	② 帽子花（ぼうしばな）	③ 喘息	④ 2	⑤ 青紫
⑥ 着草（つきくさ）	⑦ 化膿	⑧ 青花紙	⑨ 白	⑩ 一年
⑪ 絞り汁	⑫ 煎	⑬ 便秘	⑭ 痛み	⑮ 心臓病
		⑯ 熱		

【6】 植物の説明文について、適切な用語を用語欄から選び、解答欄に記入しなさい。1 点×9

1. 体を温め止血の効があるので芍薬湯に配合されている。

食用として柔らかい葉を草餅にする。

2. 鎮咳、去痰、苦味健胃薬として用いられる

食用として、花蕾をてんぷら、茎は佃煮にする。

3. 乳腺炎に1日5gを煎じて服用する。

根をコーヒーの代用とする。

用語欄

タンポポ、ヨモギ、フキ、種子、葉、全草、果実、花蕾（花茎）と根、蒲公英根、麦門冬、艾葉、車前子、牛膝、露の臺、根
--

解答欄

	植物名	薬用部分	生薬名
1	ヨモギ	葉	艾葉
2	フキ	花蕾（花茎）と根	露の臺
3	タンポポ	根	蒲公英根

【7】次の生薬名と用途について、正しいものには○、間違っているものには×を（ ）内に記入しなさい。2点×3

- ( × ) ツバキの生薬名を山茶といい、用途は無味無臭の乾性油で化粧品等に使われている。
- ( ○ ) ハコベの生薬名はハンロウといい、用途は歯磨き粉としても使われている。
- ( × ) ヤブガラシの生薬名はウレンボといい、用途は膀胱炎、産後の出血、脚気に使われている。

【8】次の文章で（ ）内に適切な用語を用語欄から選び、その番号を記入しなさい。2点×5

1. イネ科の花は雌しべに毛が生えた（ C ）で、小穂と呼ばれる花序が集合して穂を形成する。
2. カラスビシャクには花の基部に特殊化した苞があり、花の穂を包むような形になっていて、その中に（ E ）を形成している。塊茎から花茎が1本、1～2本の葉柄が伸び、葉は三出複葉で葉柄中央部に珠芽（ムゴ）がつく。
3. ジャノヒゲの花の特徴は初夏から夏に10cm余りの花茎を出し総状花序を形成し、広鐘型の白色から淡紫色の花を数個つける。子房が成熟前に破れて球状の種子が露出し、熟して（ F ）になる。
4. チガヤの葉は（ D ）から伸びている。ヨシは葉鞘となっており、茎の途中の節から広がっている。
5. チガヤ、ヨシ、ジャノヒゲは（ G ）がある。

用語欄 

A. 蘆根	B. 葦茎	C. 風媒花	D. 根茎	E. 肉穂花序	F. 青色	G. 匍匐茎
-------	-------	--------	-------	---------	-------	--------

【9】次の文章で（ ）内に適切な用語を用語欄から選び、その番号を記入しなさい。2点×5

生薬名「ゴシツ」の問題です。草丈1m位の多年草で茎は固く（ E ）で秋に節が赤くなる。果実には棘があり衣類や（ C ）に付着して運ばれる。成分は（ H ）やイノコステロンなどがある。薬用部分は（ B ）、用途として腰痛、（ F ）、リュウマチなどに使う。

用語欄 

A. 豊富な鉄	B. 根	C. 動物	D. 全草	E. 太い節	F. 関節痛
G. 細い節	H. 昆虫変態ホルモン	I. 植物	J. 肝臓病のむくみ		

【10】ボケとクサボケの説明である。正しいものには○、間違っているものには×を（ ）内に記入しなさい。2点×6

- ( ○ ) ボケは中国原産で観賞用庭園樹として渡来した。
- ( ○ ) ボケは2m前後の高さになり、針状枝がある。
- ( × ) ボケの果実の生薬名はワモッカで、クエン酸が含まれる。
- ( × ) クサボケは日本特産で針状枝は無い。
- ( ○ ) クサボケは日当たりのよい斜面に自生し、高さ30~60cmの低木である。
- ( ○ ) クサボケ酒の用途は不眠症、冷え性、疲労回復である。

ボケの生薬名はモッカ

クサボケには針状枝がある

【11】 ノアザミとハハコグサの説明である。( ) 内に適切な用語を用語欄から選び、その番号を記入しなさい。2点×4

1. ノアザミは多年草でその花は ( ② ) の集まりである。
2. ハハコグサは ( ③ ) といい、春の七草の1種である。
3. ノアザミの根葉は羽状に中裂し、辺縁に ( ⑥ ) がある。
4. ハハコグサは越年生草本で全株に ( ⑦ ) を生じる。

用語欄

- |      |       |        |        |       |     |
|------|-------|--------|--------|-------|-----|
| ① 卵型 | ② 筒状花 | ③ オギョウ | ④ ハコベラ | ⑤ 粘着部 | ⑥ 棘 |
| ⑦ 白毛 | ⑧ 冠毛  |        |        |       |     |